



日本女子大学

人間社会学部 社会福祉学科

本日の講義 社会問題

講義の流れ 社会福祉を学ぶ第一歩として、社会問題の存在に気づける力を養うことが目的。そのうえで社会問題にはさまざまな見方があることを知り、どのような解決策があるかを多面的に考える力を養う。

醍醐味 この講義では、報道されている情報は事実なのか、別の視点からのとらえ方はないのか、国の政策の真意はどこにあるかなどを考えていく。物事を批判的、多面的に捉える力が身につく。

一人の声が社会を変える ようこそ実践の学びの入口へ

谷中の夏祭りで見えた光と影

日本女子大学で都市社会学を学んだ卒業生でもある黒岩先生は、「社会学は社会の現状を研究するだけで終わってしまう感じを持っていました」と語る。しかし、そのイメージを覆したのが、学生時代のフィールドワークだったそう。台東区谷中の夏祭りを調査したとき、特別養護老人ホームが「お神酒所」となり、入所者も地域の一人としてイキイキと生活している姿に感銘を受けた。反対に、お祭りとは無縁で生活に困難を抱えている人々の存在も気になった。同じ地域に住む人々であっても、その境遇に雲泥の差が生まれることもある。この経験がきっかけとなり、黒岩先生は社会福祉学の道を選ぶことになる。「社会福祉学は実践の学問、問題を解決するための学問なのです」と先生はその魅力を語る。

地域活動から国の政策へ発展する 「孤独死」の今

本日の講義のテーマは「孤独死」だ。ある団地にスポットをあてたドキュメンタリー番組を観



ながら、日本社会の暗部に迫る。孤独死といえ、一人暮らしの高齢者を想像するかもしれない。しかし番組の中で紹介されるケースは想像と異なり、50〜60代の男性が多い。「この団地にある孤独死予防センター」は住民によって作られた組織ですが、高齢の方が中心です。ゼミの学生と共にこの団地に幾度となく足を運

社会問題の解決策は少数派の声にあり

この講義では、社会に存在する一つの状態を「事実」と呼び、それに対する考え方を「評価」と呼ぶ。しかし、人の考え方、評価は異なる。そこで社会学では「機能主義」と「構築主義」という見方で「評価」を大別する。

ある「事実」を問題提起しているのが、専門家やマジョリティの場合を「機能主義」と呼び、一人でも問題提起すれば取り上げようという考え方を「構築主義」と呼ぶ。機能主義のもとでは不良少年や同性愛者など、社会から逸脱した人が秩序を崩すことを問題視します。しかしそれでは問題解決に

なっている先生が説明を加えた。「孤独死予防センター」のスタッフは自分よりも若い人が一人で亡くなつていくことに耐えられないのです。まさにボランティアな活動なのです」

至らないため、少数派の声を聞くのが「構築主義」です。1年生を前に先生の説明は常に平易だ。番組において、孤独死の問題提起の一翼を担ったのは「マスコミ」であり、もう一翼を担ったのは当事者である住民だった。「社会問題は少数派の問題であることも多く、私たちはいかに当事者に寄り添って問題提起するかを学ぶと共に、メディアなど、誰がどんな意図で問題としているのかの敏感になる必要があります」



くろいわ りょうこ
黒岩 亮子先生

東京都立大学大学院、日本女子大学大学院修了(社会福祉学博士)。日本女子大学社会福祉学科専任助手・助教、淑徳大学社会福祉学科専任講師を経て、日本女子大学人間社会学部社会福祉学科准教授。

「彼らと一緒に掃除や日常的な活動をすることで、生きる力を引き出しています。こうした人と人とのつながりを生む地域活動は大きな注目を浴びていて、現在では国のモデル事業にまで発展しています」



学生の声

鈴木 麻李衣さん
社会福祉学科 1年
社会問題の解決方法は常に複数あり、少数派の意見を聞くことが非常に大切です。黒岩先生は教室のさまざまな人の意見を、レジュメでピックアップしてくださるので、自分とは違った視点に気づくことができ、とても勉強になります。

進藤 怜香さん
社会福祉学科 1年
物質的には豊かな日本ですが、その陰には児童の虐待や貧困などの問題があります。将来はこうした問題を抱える子供たちを早い段階から支援できる活動をしたいと思っています。



藤原 麻衣さん
社会福祉学科 1年
その人の立場で考え、その人が本当に必要としている支援は何なのか。では実際にどうすれば支援できるのか。黒岩先生の授業だけでなく、社会福祉学科の授業は想像力を試されます。

日本女子大学

http://www.jwu.ac.jp/
〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1 日本女子大学 入学課
Tel.03-5981-3786 (直通)

- 家政学部
- 文学部
- 理学部
- 人間社会学部

〔沿革・歴史〕

- 1896年 成瀬仁蔵により「女子教育」刊行。日本女子大学校設立趣意書発表。
- 1901年 4月20日、日本女子大学校開校式。
- 1905年 財団法人日本女子大学校となる。
- 1948年 日本女子大学(新制)発足。家政学部=児童学科、食物学科、生活芸術科、社会福祉学科、家政理学科I部、同II部。文学部=国文学科、英文学科、史学科。
- 1990年 人間社会学部開設。現代社会学科・社会福祉学科・教育学科・心理学科・文化学科の5学科で構成(文学部社会福祉学科、教育学科を人間社会学部に移行)。
- 1992年 理学部開設。数物科学科、物質生物科学科の2学科で構成。(家政学部家政理学科I部、同II部を理学部に改組。)現在、家政学部は児童学科、食物学科(食物学専攻、管理栄養士専攻)、住居学科(居住環境デザイン専攻、建築デザイン専攻)、被服学科、家政経済学科の5学科で構成。
- 1995年 文学部国文学科を日本文学科に名称変更。

イベント情報

- オープンキャンパス
- 目白キャンパス 6月14日(日) 10:00~14:30
- 西生田キャンパス 8月8日(土) 10:00~14:30
- 目白キャンパス 8月9日(日) 10:00~16:00
- 9月20日(日) 10:00~14:30

<入試相談会情報>

10月17日(土)、18日(日) 12:30~15:00

【学園祭同時開催】目白キャンパス・西生田キャンパス



▲目白キャンパス

取材担当者より
日本女子大学、
こんな大学でした!

西生田キャンパス構内は、背の高い樹々に囲まれた別世界が広がっていました。新緑の香りを浴びながらしばらく歩くと人間社会学部に到着。特に印象的だったのは、先生や学生が挨拶を欠かさないこと。この大学の魅力を感じた瞬間でした。